



**熱中症には気をつけて、徒歩と車で初の校外学習へれっつごー！！**

真和志高校に入学して、初めての校外学習。先生も生徒も、ドキドキとワクワクでいっぱいの気持ちで識名園へと向かいました。



**「7月8日は、=なはの日=です。この日は識名園が無料開放されるのです！」**

7月8日は、なはの日。那覇市は、多くの方に来場、那覇の歴史・文化・世界遺産についてふれることを目的とし、7月8日のみ、識名園、玉陵（たまうどうん）、那覇市歴史博物館、那覇市立壺屋焼物博物館の4施設を無料開放しています。

真和志高校と識名園はとても近く、徒歩で約15分ほどの距離にあります。識名園は世界遺産に登録されており、そのような歴史的施設が学校の近くにあるなら、活用するしかない！。ということで、真和志高校クリエイティブアーツコースでは、毎年7月8日に校外学習を計画して実施しています。今回は雨模様のため、実際に校外学習ができたのは、1年生のコース基礎演習という授業

のみでした。

コース基礎演習では、3つの専攻をローテーションして学んでいく授業のため、今回は3つの専攻より課題が出され、その課題に沿うように見学するという校外学習の内容になっていきます。雨上がりだったため、蒸し暑さもありませんでしたが、生徒達は楽しそうに拾い庭園を散策。識名園は避暑地にもされていたため、中央にある大きな池から涼しげな風が送られてきて、日陰に移動すると冷たい空気も感じられました。

初めての校外学習に嬉々としていた1年生。これから学校の外の世界で学習ができるよう、集団行動のルールも真剣な様子で聞いていました。



**初めての校外学習で嬉々満々**

「あそこに真和志高校が見える！」とはしゃぐ生徒（上写真）もいれば、出された課題に黙々と取り組む生徒（下写真）もいました。

閲覧ありがとうございます

